

ごあいさつ



新友会 会長
小林 義直

皆様方には、平素新友会の活動に対しまして、ご指導ご支援を賜り誠にありがとうございます。

私たち新友会一同は、新しい年を迎え、長野市並びに地域の更なる発展のために引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしております。

現在の長野市は、一昨年の台風被害からの復旧・復興の途上にあり、併せて新型コロナウイルス感染症の感染対策と社会経済の立て直しの両立など、連続性・継続性のある政策の実施が求められています。

また、本市の人口減少の速度は加速しており、将来を見据えた公共施設の多機能化・複合化や行政全体のAI・IOT化を進める、「デジタルトランスフォーメーション」

の推進は喫緊の課題であります。

このような本市を取り巻く状況を踏まえつつ、新友会では所属議員の出身地域はもとより、市内全域の個人や支援団体、また100余名の政策モニターのアンケート結果を含め、359項目の「令和3年度予算編成に対する要望書」としてまとめましたが、実現に向って19名の会員で力を合わせ、「皆様の気持」が市政に反映できるよう全力で頑張り抜く決意でございます。

どうぞ、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

皆様には、新友会に対し格別のご支援を賜り、所属議員一同感謝申し上げます。

令和元年10月の市議会議員改選により新人議員7名が加わり、総勢19名で本市の発展のため日々活動しております。

その中で起きた令和元年東日本台風は本市に大きな被害をもたらし、現在も引き続き復旧・復興事業が行われております。

新友会では発災当初より、被災者、避難所の支援、被災現場の確認、市災害対策本部との地域要望の調整、国への要望活動等を行ってまいりました。

ボランティアの皆様を始めとする長野市を応援いただく力が大きくなり、加速度的に復旧・復興が進むと思われた昨年春先からは、新型コロナウイルス感染症が全世界で流行し、感染への不安や経験のない閉塞感が社会を覆っています。

感染症対策や生活支援、社会経済活動等の多くの本会からの要望が、本市政策や補正予算に反映されましたが、収束まで今後もさらなる対策が必要であると思っております。

災害の復旧、復興と災害対策、新型コロナウイルス感染症関連対策、そして人口減少は長野市にとっても大きな課題であり、皆様と共に考えてまいりたいと思っております。

引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新友会 顧問
(前会長)
三井 経光



後列左より 西脇 かおる グレート無茶 青木 敏明 和田 一成 松田 光平 寺沢 さゆり 若林 祥 桜井 篤 加藤 英夫 箱山 正一
前列左より 手塚 秀樹 西沢 利一 小泉 栄正 三井 経光 小林 義直 宮崎 治夫 市川 和彦 北澤 哲也 金沢 敦志

長野市農政懇談会を開催

農業・農村を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や担い手不足等により非常に厳しい状況にあり、関係機関等と連携を深め、農業者や消費者の要求に応えながら地域農業の発展を支援するため、11月18日に長野市農業協同組合協議会(JAグリーン長野・JAながの)、長野市農業委員会及び長野市経済振興議員連盟(新友会)の三者による農政懇談会がホテルメルパルク長野で開催され、当新友会メンバーが全員で参加しました。

当日の懇談テーマは、①「令和元年東日本台風災害の復旧状況について」②「人・農地プランの取組みについて」③「令和2年度の各団体の取組み状況について」であり、それぞれ長野市、長野市農業公社、長野市農業委員会及びJAの担当者から取組み状況について説明を受け、意見交換を行いました。

令和元年台風災害の関係では、浸水被害を受けた果樹園の樹体への影響や、もものせん孔細菌病の対策などについて意見交換されました。また、高齢化により耕作が困難になる農地を地域の中心経営体に集約し、耕作放棄地を防ぐことを目的とした人・農地プランの取組みの関係では、特に耕作不利益地である中山間地域の農地の荒廃化の問題やアンケート回収率が低いことが集約化へのハードルとなること。また、スマート農業への取組みについても議論された他、プラン作成で終わりではなく、その後の見直しや施策への反映が必要であるなどの意見が出されました。

その他に、農作物の輸出に関して、特にシャインマスカットについては、日持ちもよくロスがなく今後も伸びる余地があることやその他新品種についても振興していくことなど、活発な意見交換が行われました。



▲活発な意見交換が行われた農政懇談会

令和3年度 予算編成に対する予算要望書を提出

市民の皆様の安心・安全な生活と福祉向上のため、新友会からの予算要望として、東日本台風災害関係17項目・新型コロナウイルス感染症対策関係8項目を含む、計359項目にわたる「予算要望書」を加藤市長に提出いたしました。令和3年度予算要望の主な内容と、令和2年度予算要望で実現した主な事項についてご紹介します。



▲令和2年11月6日

総務部会

令和3年度予算要望の主な内容

- 総務部**
情報通信技術（ICT）や人工知能（AI）等の先端技術の積極的な活用を図り、市民サービスの向上と行政事務の効率化を図ること。
- 企画政策部**
本市の最上位計画である第五次長野市総合計画については、幅広く市民に周知し、確実な進捗管理のもとに推進し、令和4年度を初年度とする後期基本計画策定にあたっては、コロナ禍など社会の変化を地方創生へのチャンスと捉え、新たな視点と柔軟な発想で検討すること。
- 財政部**
予算の編成にあたっては、喫緊の課題である災害からの復興や市内経済の回復に資する事業を優先して取り組む中で、事業の「選択と集中」により強化し、更には公共施設の統廃合・再配置や、業務のICT化、効率化など、行政全体のスリム化・効率化を図り、将来にわたって持続可能な財政運営を行うため、財政の健全化に努めること。
- 地域・市民生活部**
住民自治協議会に対する地域いきいき運営交付金については、今後も、地域活動が積極的に進むよう充実を図ること。
- 消防局**
消防力の充実強化を図るため、指揮隊車等の特殊車両の配備や、災害活動用無線機等、装備の充実を進めると共に、更なる水難救助体制の強化を図るため、水難救助用ボートの増強を行うこと。また、地域防災力の要である消防団員の現場活動の安全確保のため、早期に、災害活動用雨衣や救助用半長靴等、安全装備品の全団員への配備を完了させると共に、機構改革の検討と併せ、年報酬等処遇の改善と団員の確保を図ること。



後列左より
西脇 かつお 寺沢 さゆり 青木 敏明
前列左より
金沢 敦志 小林 義直

令和2年度予算要望で実現した主な事項

- 総務部**
防災行政無線デジタル化に取り組み、屋外スピーカーの増設が必要に応じて高性能スピーカーを採用することにより音圧区域の拡大などを図るなど、情報伝達手段の整備が促進されました。
- 企画政策部**
コロナ禍において地方回帰の機運が高まる中、移住定住施策の一層の推進を図るとともに、地方創生臨時交付金を活用し、県外に進学した学生等の生活上の不安を和らげ、「ふるさとながの」への意識の醸成や移住に繋げる学生応援バックの給付、県外企業及び従業員の本市への移転・移住に対し支援金の交付が実施されました。
- 財政部**
令和2年度一般会計当初予算は、東日本台風災害からの復旧・復興事業に255.3億円が重点配分されるとともに、引き続き増大する社会保障関係費をはじめ、善光寺御開帳関連事業など「まちの賑わいを創出する事業」に必要額がしっかりと予算付けされました。
- 地域・市民生活部**
① 長野地域おこし協力ネットワーク会議が開催され、隊員の任期終了後の定住・自立促進に向け、具体的な支援策を検討するとともに、販路拡大につながる市役所前でSAKURAマルシェが開催されました。
② 住民自治の拠点や災害時の防災拠点として、中条総合市民センター（中条支所）及び七二会支所の建設を、令和3年3月完成を目指し進められています。
- 消防局**
令和元年東日本台風災害での活動を踏まえ、「団員の安全確保」と更なる「士気向上」を図るため、全団員へ「新基準活動服」の貸与が完了されました。特殊作業車等の車両更新を行うと共に、台風災害を受けて国から配備された「大規模風水害対策車」や「高機能救命ボート」が配置されるなど、消防力の充実強化が図られました。音声通報が困難な方々が、安心して社会生活ができるよう、スマートフォン等を活用した「NETT119緊急通報システム」の運用が開始されました。



▲学生応援バック

福祉環境部会

令和3年度予算要望の主な内容

- 保健福祉部**
① 新型コロナウイルス感染症の正しい知識を広く知らしめるとともに感染症拡大防止のため、医療体制及び検査体制の整備充実を図ること。
② 認知症や知的・精神障害等により判断能力が低下しても、尊厳を保ちながら生活できるよう、成年後見制度の利用促進、権利擁護を含めた総合相談・支援体制の充実を図ること。
③ 災害に備え避難行動要支援者の避難支援対策について適切な対応を図ること。また、福祉避難所の収容人数の確保を進めるとともに、災害発生時に速やかな開設、周知が行える態勢の構築を図ること。
- 子ども未来部**
① 待機児童対策のため、公立保育所のICT化などにより、保育士の負担軽減等の改善を図り保育士確保につなげること。
② すべての子どもが健やかに成長するため、支援を必要とする子どもや家庭に対し「子どもの貧困対策」に関わる必要な施策を講ずること。
- 環境部**
① 更なる温暖化対策を推進するため、市有施設への再生可能エネルギー・省エネルギー設備を積極的に導入すること。
② 長野市バイオスタウン構想に基づき、本市の特徴である豊富な木質バイオマス資源を活用したボイラー・ストーブ等の普及促進を図るとともに、ソルガム等資源作物を含め多様なバイオマス利活用を調査・研究し推進すること。



後列左より
桜井 篤 市川 和彦 箱山 正一
前列左より
若林 祥 松田 光平

令和2年度予算要望で実現した主な事項

- 保健福祉部**
① 高齢者の方を対象に就労マッチングイベント「なかのシニアのおしごと『ご縁』結び」が開催されました。
② 出産後に体調の回復や育児手技等を習得するための産後ケア事業において、従来からの宿泊型に日帰り型が追加され、利便性の向上が図られました。
- 子ども未来部**
① 令和2年度から5年間で計画期間とする第二期子ども・子育て支援事業計画が策定されました。
② 児童虐待等の対応強化を図るため、「子ども家庭総合支援拠点」が設置されました。
- 環境部**
① 定格出力20kw以上の「野立て」の太陽光発電設備について、住民不安の解消を図り、地域環境と調和の図られた形で設置が行われるように「長野市太陽光発電設備の設置と地域環境との調和に関する条例」の、令和3年4月の施行に向けた整備が進んでいます。
② 令和元年東日本台風災害で発生した、災害廃棄物及び宅内土砂の搬出・処分等が行われました。また、倒壊家屋について、公費解体・自費解体が進んでいます。いずれも、令和2年度末の完了を目指しています。



▲第2回なかの子ども・子育てフェスティバル（桜スクエア）



▲赤沼公園（災害廃棄物等撤去前・撤去後）

経済文教部会

令和3年度予算要望の主な内容

- 農林部**
① IoTやドローンなど先端技術を活用したスマート農業の推進により、生産性及び農産物の品質の向上を図り、持続可能な産地づくりを行うこと。
② 令和元年度から施行された森林経営管理制度の事業を推進するため、林業者（担い手）の確保・育成を図ること。
- 商工観光部**
① 信州ITハブ構想の推進のため、スタートアップ成長支援に取り組みるとともに、高等教育機関や企業などとの連携による新技術等の開発支援、ベンチャー企業の育成等を進め、新産業の創出・育成に努めること。
② 令和3年春に開催される戸隠神社式年大祭とともに、令和4年度に延期された善光寺御開帳に向けて、関係団体等と連携した積極的なプロモーションに努めること。
- 文化スポーツ振興部**
「文化芸術及びスポーツの振興による文化力あふれるまちづくり条例」の基本理念に基づき立案した「文化芸術振興計画」や「スポーツ振興計画」を推進していくために、市民の文化・芸術やスポーツの振興にかかわる施設整備や具体的な事業を積極的に実施すること。
- 教育委員会**
① 令和の学びのスタンダードである「GIGAスクール構想」を実現させるため、学習用ソフトウェアを含む端末・ネットワークの整備と、それらを有効活用するためのICT教育人材の配置を進めること。
② 保健衛生用品の十分な確保など、学校における新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すこと。



後列左より
グレート無茶 西沢 利一 和田 一成
前列左より
手塚 秀樹 宮崎 治夫

令和2年度予算要望で実現した主な事項

- 農林部**
令和2年10月に「農地中間管理機構関連農地整備事業 綿内東町地区」の圃場整備工事12.8haが竣工しました。今後も、耕作放棄地の解消や農業生産性の向上、経営安定化を図るため、基盤整備促進事業を推進していきます。
- 商工観光部**
飯綱高原のグリーンシーズン化の拠点として令和元年度から整備を進めている（仮称）山の駅飯綱高原について、令和2年度正式に工事契約が締結され、令和3年度中の竣工を目指しています。
- 文化スポーツ振興部**
① 新型コロナウイルス感染防止対策を講じる中で、「街角アート展」「表参道芸術音楽祭」などが開催され、文化芸術の発表や鑑賞の機会が図られました。
② 全国中学校スケート大会については、令和3年度までの15年連続開催が決まっておりますが、引き続き令和4年度から令和8年度までの5年間の継続開催が決定しました。
- 教育委員会**
① 松代町松代の史跡「旧文武学校」は、耐震補強を含む約10年間にわたる大規模な修理工事が終わり、令和2年10月にリニューアルオープンしました。
② 子どもの権利を守るため、学校が抱える様々な問題を法的な見地から整理し、適切に解決が図られるよう支援を行うスクールロイヤー活用事業が導入されました。



▲若穂綿内東町地区



▲松代町「旧文武学校」

建設企業部会

令和3年度予算要望の主な内容

- 建設部**
① 道路・河川などの防災対策を進めるとともに、地滑り防止区域、急傾斜地崩壊危険区域、及び砂防指定地の防災対策の充実強化を図ること。
② 都市型水害に対応する治水対策の推進として、北八幡雨水調整池の貯水容量を増やす事業を速やかに行うなど、北八幡川沿川の治水対策の促進を図ること。併せて、古牧小学校、南部小学校、芹田小学校等への校庭貯留施設整備を順次進めること。
- 都市整備部**
① 「長野市都市計画マスタープラン」に基づき、人口減少や高齢社会化など、社会構造の変化に対応するコンパクト・プラス・ネットワークによる持続可能なまちづくりの推進を図ること。加えて、公共施設再配置計画や公共交通ビジョンとも連携した適確な土地利用の誘導を図るとともに、都市活力の維持と都市経営の観点から、産業の立地を目的とした産業用地の整備に向けて取り組むこと。
② 城山公園については、文化・芸術・レクリエーション機能を高め、善光寺周辺を含めた広域的な集客に対応できる都市空間となるよう、旧蔵春閣や城山公民館一帯の再整備を進めること。特に城山動物園は来年60周年を迎えることから、記念事業として、城山動物園、城山市民プール、少年科学センターなどの再整備促進を図ること。
- 上下水道局**
① 令和元年東日本台風で被災した上下水道施設の本復旧を迅速に進めるとともに、今後、同規模、あるいはそれ以上の災害を想定する中で、施設の浸水対策に努めること。
② 下水道施設の改築更新及び耐震化に要する費用の増大が見込まれることから、ストックマネジメント計画等に基づき、投資と財源の均衡を図りながら計画的に進めること。



後列左より
小泉 栄正 加藤 英夫
前列左より
北澤 哲也 三井 経光

令和2年度予算要望で実現した主な事項

- 建設部**
① 浅川の治水対策については、県において浅川の堤防高上げ、及び三念沢の改修を同一事業により令和2年度から着手し、令和6年度の完成を目指し実施することになりました。また、新田川は、全体改修延長の約4割の390mについて改修が完了しました。
② 東外環状線の朝陽～柳原間（2.8km）の整備事業について、令和3年3月に車道部分が共用開始されます。
- 都市整備部**
① 市街地開発事業等の制度を活用し、公共施設の整備改善及びまちなか居住の推進を図るとともに、健全な市街地の形成に努めるため、県庁緑町線沿線地区及びセントラルスクエアの整備を進め、令和2年の春に供用を開始しました。
② 都市計画道路北部幹線は、本線の工事がほぼ完了し、一昨年に一部暫定形で供用した区間も含め事業区間（長野高専前～古里小学校前）約1.2kmが全線開通する見込みとなり、2月28日には開通式が開催される運びとなりました。
- 上下水道局**
① 水道の老朽管解消事業によって管路の更新及び耐震化を行い、赤水解消等が進むとともに、災害に強い管路整備が進みました。
② 下水道施設全体を一体的にとらえ、既存施設の有効活用し長寿命化を図りながら、事業費の削減と平準化を目指すストックマネジメント計画に基づいた改築更新が進みました。



▲東外環状線（朝陽～柳原間）



▲整備されたセントラルスクエア

新友会は、市民の皆さまのご意見をお待ちしております。ご遠慮なく下記にご連絡ください。

〈発行所〉長野市議会 新友会 〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地 長野市役所第一庁舎7F
 〈発行責任者〉小林 義直 TEL.026-226-4911（内線3931） FAX.026-229-6386 E-mail:shinyu@mx1.avis.ne.jp
 ホームページ: <https://shinyukai-nagano.com/>